

## 議題 1 平成 30 年度 相互交流を生かした人材育成講座の実施について

### 1 本日の意見交換の趣旨

平成 30 年度に実施する「相互交流を生かした人材育成講座」(案)について、意見を交換する。

### 2 事業の経緯

環境教育・環境学習マスタープランに掲げた「人づくり」の推進のための施策として、環境教育・環境学習ネットワーク会議の意見を基に、より実践的な人材を育成する講座を目指して、平成 23 年度からトライアル事業として「相互交流を生かした人材育成講座」を実施。

3 年間の試行を経て、平成 26 年度からは、「相互交流を生かした人材育成講座」は主に市民活動団体を対象とした講座として実施し、「教員向け講座」は独立して環境企画課主体で実施。

### 3 目的

#### 【長期的】

- (1) 経験に基づいた専門知識や地域の環境情報等を教え合うことで、環境教育の実践的な人材を育成する。
- (2) 講座の開催を通して、主体間の交流をはかる。
- (3) 連携、協働実施の効果をはかる。

#### 【短期的】

- (1) 現在市内で環境教育活動を行っている市民・市民団体に、情報や学びの場を提供し、よりいっそうのレベルアップを図る。
- (2) 子どもたちと関わる学校教員に環境についての知識を深めてもらうことで、教員自身のスキルアップと同時に、子どもたちへの環境教育・環境学習の広がりを目指す。

### 4 事業概要

#### (1) 相互交流を生かした人材育成講座

環境教育活動を行っている市民・市民団体に、環境に関わる知識の情報提供、また環境教育・環境学習に関する技術の情報提供を行う。

#### (2) 教員向け環境学習講座

- ① 学校教員を対象とした環境学習講座を実施する。
- ② 実施にあたっては、教育委員会と連携し、可能な限り夏季期間中の教員研修の扱いとする。

## 5 平成 30 年度人材育成講座

### (1) 相互交流を生かした人材育成講座 (案)

開催時期 平成 30 年 10 月～11 月の期間で調整を予定  
場 所 国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 (横須賀市長瀬 3-1-1)  
対 象 環境活動者  
人 数 10 名～30 名程度  
内容(例) 港湾空港技術研究所で、沿岸環境研究グループによる講義(座学)と施設見学を行い、干潟・藻場の自然再生や沿岸域における水底質の改善、沿岸生態系や木材バイオマスを利用した低炭素社会づくり、ブルーカーボンによる CO<sub>2</sub>削減効果を学ぶ。(干潟とアマモ場、水底質の改善技術、沿岸域における炭素固定の見学等)

### (2) 教員向け環境学習講座 (参考)

日 時 平成 30 年 7 月 31 日 (火) 9:30～12:00  
テ ー マ 身近な自然環境でフィールドワーク  
～自然を教材とした授業づくりを学ぼう～  
講 師 NPO 法人三浦半島生物多様性保全 理事長 天白 牧夫氏  
場 所 逸見小学区  
対 象 教員  
人 数 30 名 (申し込み状況 (7 月 11 日時点) 11 人)

## 6 開催実績

(資料 1-2 参照)